商品10年保証

Montageの商品保証内容は以下のようになっています。

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において商品保証を行うことをお約束するものです。
保証期間中に故障・損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店または当社営業所にご相談ください。

●保証者　クレトイシ株式会社

●対象商品　クレトイシで販売してる「モンタージュ」及びそのブランドで販売する商品。

●保証期間　①部品の支給・・・施工者よりの引き渡し日から10年間
②商品の修理・・・施工者よりの引き渡し日から2年間

●保証内容　取扱説明書、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料で部品支給・商品修理をいたします。ただし、商品の仕様変更・販売完了させていただいている場合は、代替可能な部品にて対応させていただく場合があります。また、商品からの雨水浸入については10年間の保証をいたします。なお、強風時にサッシ下枠に雨水がたまることがありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて室内に雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

●免責事項　保証期間内でも、次の様な場合には有料となります。
①表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
②商品または部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗など）や経年劣化（樹脂部分の変質、変色など）など
③自然現象や住環境に起因する結露などの不具合
④環境が特に悪い地域や場所での腐食またはその他の不具合（例えば海岸地帯での塩害による腐食、大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着しておきる腐食、異常な高温、低温、多湿による不具合など）
⑤天災その他の不可抗力（例えば暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など）により、商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
⑥引き渡し後の操作誤り、調整不整備または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
⑦お客様自身の組立て、取付け、修理、改造（必要部品の取り外しを含む）に起因する不具合
⑧一般住宅（またはそれに相当する建築物）用とは認められない目的に使用された場合
⑨犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合
⑩熱割れや人為的原因に起因するガラスの破損、不具合（例えば、カーテン、ブラインドを密着させたり、ガラスに紙を貼る等の行為は熱割れの原因となります。）

※保証期間経過後の修理についてご不明な点は、最寄りの当社営業所にお問い合わせください。

KGW クレトイシ株式会社 建材事業部

ホームページアドレス：www.kgw.co.jp

R100 当取扱説明書は古紙配合率100%再生紙を使用しています。

VEGETABLE OIL INK 一部に植物性インキを使用しております。

montage
モンタージュ

Windows & Patiodoors

モンタージュ樹脂窓

取 扱 説 明 書

お読みになった後は、
いつでも見られる所に保管してください。

このたびは「モンタージュ樹脂窓」を
ご利用頂きまして誠に有り難うございます。

ご使用に先立ちまして、注意事項とお手入れ方法、調整方法についてご説明いたします。
末永いご使用と快適な暮らしをして頂くために、本説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使い頂きますようお願いいたします。

CONTENTS

窓を使用する際の注意事項…… P1

A. 火源や熱源に対するご注意 ……P2
B. 窓を開閉する際のご注意 ……P2
C. その他安全上・使用上のご注意 ……P4
D. 網戸の使用上のご注意 ……P5

日常のお手入れ方法…… P6

A. 窓枠・框 ……P6
B. 窓ガラス ……P7
C. 網戸 ……P7
D. 戸車、ハンドル、ヒンジなどの金具類 ……P7
E. トラブル ……P7

窓の調整方法…… P8

片上げ下げ窓(シングルハングウィンドゥ) ……P8
両上げ下げ窓(ダブルハングウィンドゥ) ……P9
縦滑り出し窓(ケースメントウィンドゥ)／横滑り出し窓(オーニングウィンドゥ) ……P10
片引き窓(シングルスライダーウィンドゥ) ……P11
両引き窓(ダブルスライダーウィンドゥ) ……P12
掃き出し窓(パティオドア) ……P13

商品保証について

窓を使用する際の注意事項

安全にご使用して頂くために、必ずお守りください。
本説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容です。
人身事故や物的損害を未然に防止するため、次のような絵表示の内容を充分理解して、本文をお読みください。

警告

この内容を無視して誤った使用をされますと、人が死亡または重傷を負う恐れがある事項の説明です。

注意

この内容を無視して誤った使用をされますと、人が傷害を負う危険や物的損害を受ける恐れがある事項の説明です。

樹脂窓の部位名称

枠	一般に窓外枠のことをいいます。 位置により上枠・下枠・縦枠といいます。
障子	枠の内側に収まり、開閉する部分をいいます。
框（かまち）	障子の縦横部材をさし、上框·下框·縦框といいます。

A 火源や熱源に対するご注意

警告

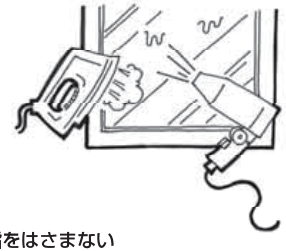
■窓に炎のある火源を近づけないでください。

●窓枠および框は耐候性硬質塩化ビニール製です。着火しにくく自己消火性がありますが不燃物ではありません。

注意

■窓の近くにストーブやアイロン、ドライヤーなどの熱源を置かないでください。

●樹脂は長時間、高温・高熱にさらされますと変形したり変色したりします。



B 窓を開閉する際のご注意

注意

■窓の開閉を行なう際は、手や指をはさまないようにご注意ください。

注意

■窓に異物をはさんだまま開閉操作をしないでください。

●カーテンや雑巾などの異物をはさんだまま開閉しますと、変形したり壊れたりすることがあります。

注意

■風雨の強い時は、家の中のすべての窓をしっかり閉め施錠してください。

●1ケ所でも窓が開いていたり、しっかり閉まっていませんとそこから風雨が吹き込む恐れがあります。

注意

■冬季に窓が凍りついた場合は、無理に開けようとはせず、外からぬるま湯をかけるなどして溶けるのを待ってから操作してください。

注意

■スライド系窓
（片上げ下げ窓・両上げ下げ窓・片引き窓・両引き窓 ・掃き出し窓）の注意事項

●断熱性・気密性を高めるため開閉がやや重くなっていますので、しっかりと操作してください。

●上げ下げ窓の障子を内倒しにする際は、カーテンや家具などに当てないようにご注意ください。

●上げ下げ窓は障子を内倒しにし、その後元に戻す場合、内枠にチルトラッチ（P8⑨）（P9⑨⑫⑬）のツメが確実にとまっていることを確認してください。ツメがとまっていませんと、障子がはずれたり落下して、怪我をする恐れがあります。

●上げ下げ窓の障子の内倒し操作は、故障や怪我を防ぐため、上框に貼ってある説明ラベルに従って正しい操作をしてください。

※各窓の詳細は、P8、9、11、12、13を参照してください。

■使用例

注意

■外開き系窓
（縦滑り出し窓・横滑り出し窓）の注意事項

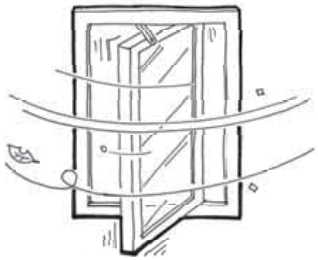
●風の強い時は、しっかり窓を閉め施錠してください。しっかり閉まっていませんと、風にあおられて勢いよく開き人や物にあたり、怪我をしたり壊れたりする恐れがあります。

●窓を開ける際は、外に人がいないことを確認して操作してください。

●窓を開ける際は、ロックを解除してから、ハンドルをまわして操作してください。施錠されたまま操作しますと、ギヤの破損やハンドルの空まわりにつながりますのでご注意ください。

●開閉操作のハンドルの回転方向は、ハンドルつけ根のラベルに従って正しい操作をしてください。

※各窓の詳細は、P10を参照してください。



C その他安全上・使用上のご注意

警告

■窓に乗ったり、寄りかかったりしないでください。転落などの恐れがあります。

警告

■ガラスに物をぶつけたり、寄りかかったりしないでください。ガラスが割れて怪我をする恐れがあります。

警告

■出窓に子供を乗せないでください。転落の恐れがあります。

注意

■ガラス表面に塗装したり、紙を貼ると熱割れの原因となりますのでおやめください。

注意

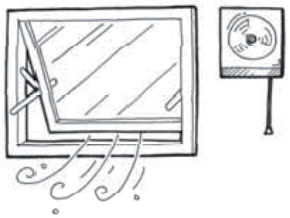
■熱割れ防止のため、冷暖房の吹き出し空気が直接ガラスに当たらないようにしてください。

注意

■気密性の高い窓です。室内の空気の汚れや湿気を除くため、窓を開けるか換気扇をまわすなどして適宜換気をしてください。

●断熱性・防露性の高い窓ですが、室内の湿度が非常に高くなると結露することがあります。換気をし、温度・湿度をコントロールしてください。

●直だきストーブを使用する場合は、室内の空気が汚れやすいので換気をしてください。



注意

■有機溶剤（ベンゼン・アセトン・シンナーなど）やこれらを含む製品（ガラスクリーナー、殺虫剤、防錆剤など）が枠材へ直接付着しますと、溶けたり、変色・変質の原因となりますのでご使用は避けてください。

●特にカラー窓・カラー網戸は白化したり、クラック（ヒビ割れ）を起こす恐れがあります。

●付着した場合は、すみやかに洗い落とすか水拭きにより充分に拭き取ってください。

注意

■一般的な使用に対しては充分に耐えますが、金槌などの硬い物で強くたたいたり、ナイフなどの先のとがった物で削ったりしますと、割れたり傷がつきますのでご注意ください。

D 網戸の使用上のご注意

注意

■ネットに寄りかかったり、押したりしないでください。網戸のはずれ、落下・転落事故などにつながります。

●片上げ下げ窓・両上げ下げ窓・片引き窓・両引き窓の網戸は、枠溝に入っている事をご確認ください。

●縦滑り出し窓・横滑り出し窓の網戸は、内枠に付いているターンボタン（P10①）が網戸をしっかり固定している事をご確認ください。

●掃き出し窓の網戸は、戸車調整用ネジが上下に各2ヶ所付いております。戸車が上枠に軽く当たるまで上げ、網戸がはずれないように調整してください。戸車が機能していませんと、強風時や開閉時に脱落する恐れがあります。（P13を参照してください。）

注意

■ネットには火気を近づけないでください。

注意

■シンナー、アルコール、磨き粉、酸性・アルカリ性洗剤などが、枠材・ネットへ直接付着しますと、変色・変質の原因となりますのでご使用は避けてください。

●付着した場合は、すみやかに洗い落とすか、水拭きにより充分に拭き取ってください。

注意

■無理な開閉や乱暴な取扱いをすると、網戸を破損するばかりではなく、思わぬ怪我の原因になりますのでご注意ください。

日常のお手入れ方法

樹脂製のため潮風や汚れた空気によるはがれ、腐食などは起こしませんが、直接外気に触れていますので、日常の手入れを怠りますと大気中のゴミやほこりなどが枠やガラスにこびりつき汚れが目立ちます。
特に下枠の隅などの汚れのたまりやすい場所は、定期的に掃除をして汚れを取り除いてください。

A窓枠・框

●汚れたりゴミが付着した場合、水拭きにより拭き取ってください。それでも落ちない場合には、中性洗剤をぬるま湯で薄めた液（1～2%の水溶液）に柔らかい布かスポンジを浸したもので拭き取ってください。

●汚れを落とした後は水で充分に洗剤を洗い流し、乾いた布で水分を拭き取ってください。

●汚れを落とす際、ワイヤーブラシ・金属製のタワシ・金ベラなどの硬いもので こすらないでください。

●有機溶剤（ベンゼン・アセトン・シンナーなど）やこれらを含む製品（ガラスクリーナー・殺虫剤・防錆剤など）の枠材への直接のご使用は避けてください。付着した場合は、すみやかに洗い落とすか、水拭きにより充分に拭き取ってください。

●下枠部分は砂やほこりが特にたまりやすい所なので、掃除機やハケなどを使用して取り除いてください。特に片引き窓・両引き窓・掃き出し窓は、下枠にゴミなどがたまっていますと、排水不良をひきおこしオーバーフローの原因になりますし、下框に戸車の付いてる窓は摩耗しやすくスムーズな開閉をそこなう原因にもなりますので、念入りに掃除してください。

■カラー窓のカラー部分に傷がついた場合は、専用のタッチアップペイントにて補修してください。

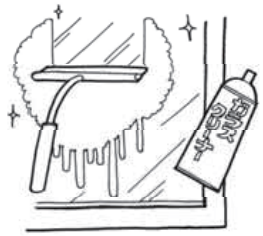
●タッチアップペイントについては、工事店・販売店またはメーカーにお問い合わせください。

B窓ガラス

●ガラス全体に水をかけた後、市販されているT字型のゴムヘラを使うと汚れがきれいに落ちます。

●汚れがひどい場合は、ガラスクリーナーをお使いください。

●ガラスクリーナーを使用する場合、カラー窓の外枠に直接かからないようにご注意ください。



C網戸

●ハタキなどで軽くほこりを落とした後、柔らかい布かスポンジで水洗いしてください。

●汚れがひどい場合には、中性洗剤をぬるま湯でうすめ、柔らかい布かスポンジで洗ってから水で洗い流し、必ずカラ拭きしてください。

●たわし・金属ブラシなどで、ネット部分、アルミ枠をこすらないでください。

●シンナー、アルコール、磨き粉、酸性・アルカリ性洗剤などは変色・変質の原因となりますので使用しないでください。

D戸車、ハンドル、ヒンジなどの金具類

●窓のスムーズな開閉を保つために、1年に何度かはシリコン系の潤滑スプレーを塗布してください。

E トラブル

●ガラス・金具の破損、その他不具合が生じたときは、工事店・販売店またはメーカーにお問い合せください。

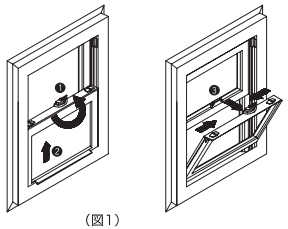
窓の調整方法

片上げ下げ窓（シングルハングウィンドゥ）

1 障子の内倒し方法

●ロックを解除し下部障子を5cm程度開けます。

●障子上部両端にあるチルトラッチプル（⑨）を中央に向けて引きながら障子全体を内側に倒します。（図1）

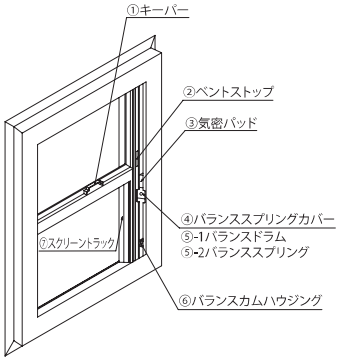


（図1）

2 障子の取りはずし方

●障子を水平になるまで内側に倒し左右片方ずつ真上に持ち上げますと、取りはずすことができます。

●取付ける際は、バランスカムハウジング（⑥）の溝が上向きになっている事を確認し、障子下部のピボットバー（⑩⑪）をその溝に片方ずつ差し込みます。障子を回転し、チルトラッチプル（⑨）のツメが確実にとまるまで押し込みます。

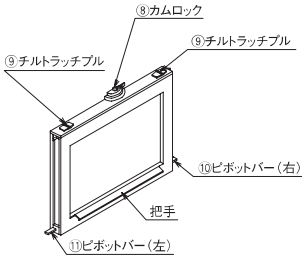


3 ベントストップ

●上部はめ殺し枠下部には防犯性を考慮し、ベントストップ（②）を装備しています。これを押し上げることによりサッシの開閉が一定の位置でストップします。

4 開閉力の調整

●開閉が重いような場合や開閉時に異音が発生する場合は、縦枠のスライド部の接触部分にシリコン系の潤滑スプレーを塗布します。



5 網戸の取付け方

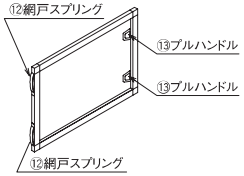
●網戸はプルハンドル（⑬）の付いている方が室内側です。

●窓を全開にして、室内側よりスプリング（⑫）の付いている網戸左枠を窓枠左枠（屋内から見て）の溝へ押し込みます。

●プルハンドルを持ち網戸右枠を窓枠右枠の溝へはめ込みます。

●取りはずしは、この逆の要領にて行います。

●網戸は基本的に固定式ですが、スライドさせることは可能です。



両上げ下げ窓（ダブルハングウィンドゥ）

1 障子の内倒し方法

●ロックを解除し障子を5cm程度開けます。

●上部障子は下部障子を下記手順にて取りはずし、窓枠中央まで開けます。

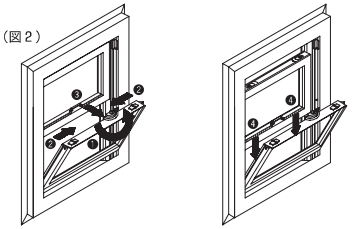
●障子上部両端にあるチルトラッチ（⑫⑬）を中央に向けて引きながら障子全体を内側に倒します。（P8.図1参照）

2 上障子の開け方

●下部障子を内倒しします。（図2）

●上部障子斜線部分を持って、開けてください。

（図2）

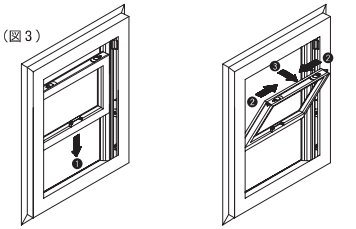


3 下部障子の取りはずし方

●障子を水平になるまで内側に倒し、左右片方ずつ真上に持ち上げますと、取りはずすことができます。

●取付ける際は、バランスカムハウジング（⑤）の溝が上向きになっている事を確認し、障子下部のピボットバー（⑩⑪）をその溝に片方ずつ差し込みます。障子を回転し、チルトラッチプル（⑨）のツメが確実にとまるまで押し込みます。

（図3）



4 上部障子の取りはずし方

●下部障子を取りはずします。

●上部障子を窓枠中央まで開けます。（図3）

●障子上部両端にあるチルトラッチ（⑫⑬）を中央に向けて引きながら障子全体を内側に倒します。（図3）

●障子を水平になるまで内側に倒し左右片方ずつ真上に持ち上げますと、取りはずすことができます。

●取付ける際は、バランスカムハウジング（⑤）の溝が上向きになっている事を確認し、障子下部のピボットバー（⑩⑪）をその溝に片方ずつ差し込みます。障子を回転し、チルトラッチ（⑫⑬）のツメが確実にとまるまで押し込みます。

5 ベントストップ

●上部障子下部には防犯性を考慮し、ベントストップ（⑮）を装備しています。これを押し上げることによりサッシの開閉が一定の位置でストップします。

6 開閉力の調整

●開閉が重いような場合や開閉時に異音が発生する場合は、縦枠のスライド部の接触部分にシリコン系の潤滑スプレーを塗布します。

7 網戸の取付け方

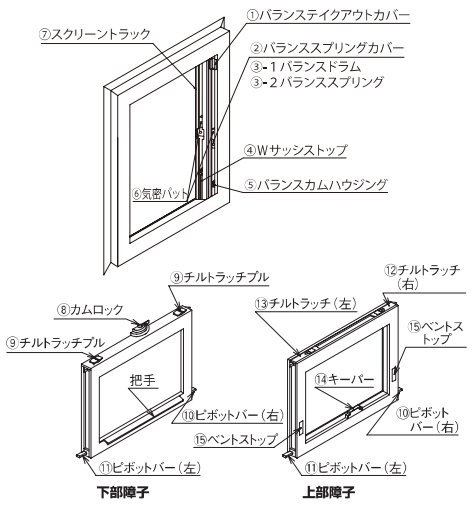
●上記手順にて上障子、下障子をはずします。

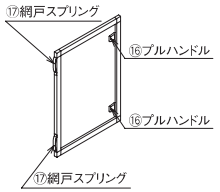
●網戸はプルハンドル（⑯）の付いている方が室内側です。

●室内側よりスプリング（⑰）の付いてる網戸左枠を窓枠左枠（屋内から見て）の溝に押し込みます。

●プルハンドルを持ち、網戸右枠を窓枠右枠の溝へはめ込みます。

●取りはずしは、この逆の要領にて行います。

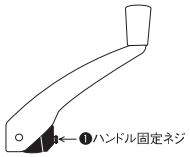




縦滑り出し窓（ケースメントウィンドゥ）／横滑り出し窓（オーニングウィンドゥ）

1 ハンドル回転位置の調整

●ハンドルの止まる位置を調整する場合は、ハンドル下部に付いている固定ネジ（❶）を緩めハンドルを抜き取り、真横になるように再度固定します。（図4）



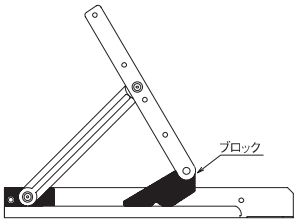
（図4）

2 開閉力の調整

●開閉が重いような場合はヒンジのスライド部にある（図5）、ブロック可動部へシリコン系の潤滑スプレーを塗布します。

●ハンドルの回転がきついような場合は、オペレーター摺動ギア部分にシリコン系の潤滑スプレーを塗布します。

※ケースメントは、窓が大きくなるにつれて若干開閉操作が重くなります。
※オーニングは、開く時よりも閉める時の方が若干操作が重くなります。



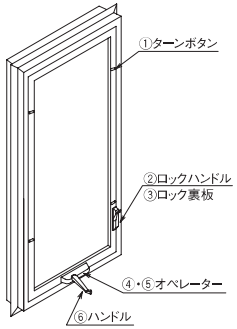
（図5）

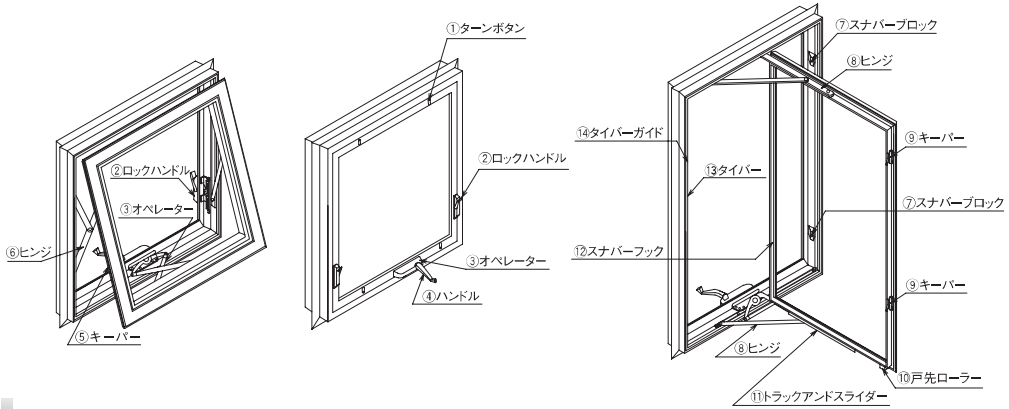
3 網戸の取付け方

●網戸はネットを押さえているゴム（スプライン）のある方が室外側です。

●室内側より窓内枠に網戸をはめ込み、ターンボタン(①）にて固定します。

●取りはずしは、この逆の要領にて行います。



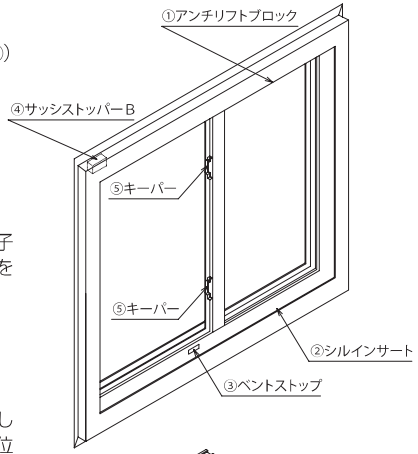


片引き窓（シングルスライダーウィンドゥ）

1 ロックの調整

●ロックのかみ合わせが緩いまたはきつい場合は、キーパー(⑤）の止めネジを緩めて位置の調整をします。

●調整は、障子を取りはずして行います。



2 開閉力の調整

●開閉が重いような場合は、上下枠スライド部の接触部分や障子下框に付いている戸車（⑧）に、シリコン系の潤滑スプレーを塗布します。

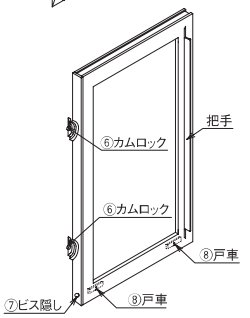
3 ベントストップ

●はめ殺し枠には防犯性を考慮し、ベントストップ（③）を装備しています。これを押し上げることによりサッシの開閉が一定の位置でストップします。

4 障子の取りはずし方

●障子を窓枠の中央に寄せ、障子を上部に持ち上げてはずします。

●防犯対策として、障子を中央に移動させないと、はずれない構造となっています。



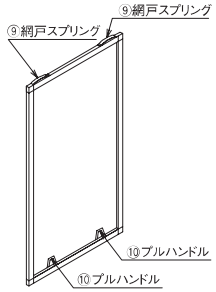
5 網戸の取付け方

●網戸はプルハンドル（⑩）の付いている方が室内側です。

●窓を全開にして、室内側よりスプリング(⑨)の付いている方の網戸上枠を窓枠上枠に押し込みます。

●プルハンドルを持ち、網戸下枠を窓枠下枠の溝へはめ込みます。

●取りはずしは、この逆の要領にて行います。

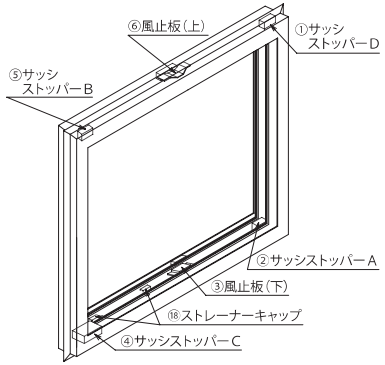


両引き窓（ダブルスライダーウィンドゥ）

1 ロックの調整

●ロックのかみ合わせが緩いまたはきつい場合は、キーパー（⑨）の止めネジを緩めて位置の調整をします。

●調整は、障子を取りはずして行います。

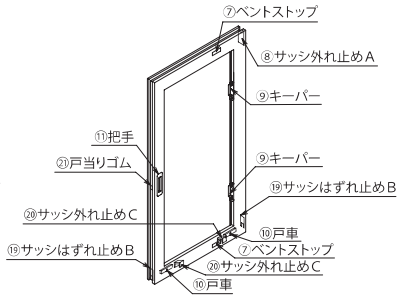


2 開閉力の調整

●開閉が重いような場合は、上下枠スライド部の接触部分や障子下框に付いている戸車（⑩）に、シリコン系の潤滑スプレーを塗布します。

3 ベントストップ

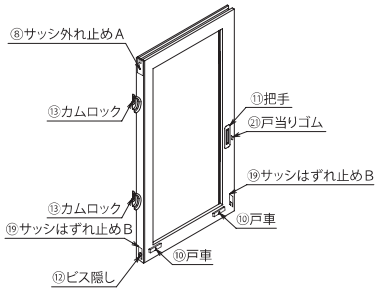
●左障子には防犯性を考慮し、ベントストップ（⑦）を装備しています。これを押し上げることによりサッシの開閉が一定の位置でストップします。



4 障子の取りはずし方

●障子を窓枠の中央に寄せ、サッシはずれ止めA（⑧）を下げて、障子を上部に持ち上げてはずします。

●防犯対策として、障子を中央に移動させないと、はずれない構造となっています。



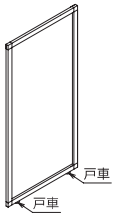
5 網戸の取付け方

●室内側より網戸上枠を窓に差し込み、下枠は戸車が網戸レールに乗るように取付けします。

●建てつけ調整は、下枠にある戸車調整用ネジを左右にまわして行います。

●右にまわすと戸車が出て、網戸が持ち上がります。

●取りはずしは戸車調整用ネジを左にまわし戸車を下げた後、網戸を持ち上げながら行います。



掃き出し窓（パティオドア）

1 ロックの調整

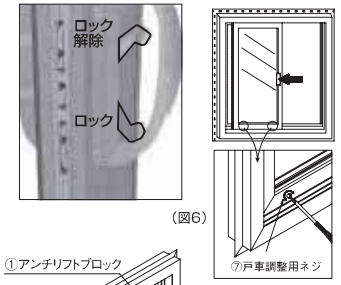
●ロックレバーを下げるとロックがかかり、上げると解除されます。窓を開けた状態では、ロックがかからないようになっています。

2 障子の建てつけ調整

●建てつけ調整は、障子屋内下部にあるビス隠し大（⑦）をはずし、サッシを持ち上げて、戸車調整用ネジを左右にまわして行います。（図6）

●右にまわすと戸車が出て障子が持ち上がります。

●左右平行になるように調整します。



（図6）

3 開閉力の調整

●開閉が重いような場合は、上下枠スライド部の接触部分や障子下框に付いている戸車（⑥）に、シリコン系の潤滑スプレーを塗布します。

4 障子の取りはずし方

●障子を窓枠の中央に寄せ、障子を上部に持ち上げてはずします。

●防犯対策として、障子を中央に移動させないと、はずれない構造となっています。

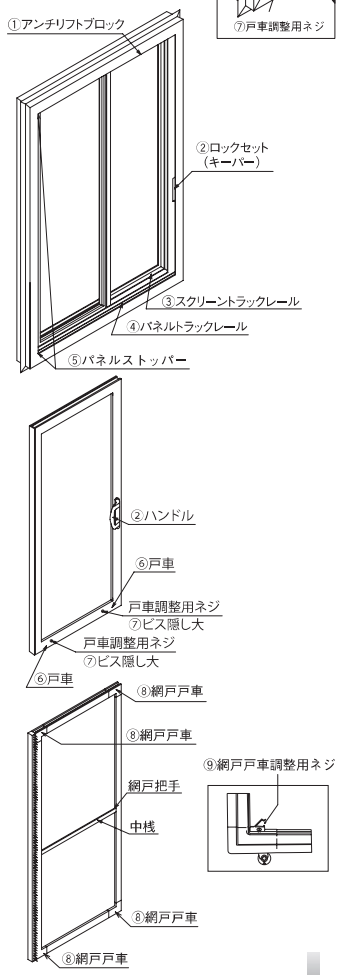
4 網戸の取付け方と建てつけ調整

●網戸は四隅にあるネジカバーの付いている方が室内側です。

●室外側より網戸上枠を窓上枠に差し込み、下枠は戸車がスクリーントラックレール（③）に乗るように取付けします。この場合、下枠の戸車がとび出していますので、戸車自体を押し上げながら取付けます。

●建てつけ調整は、四隅にある戸車調整用ネジ（⑨）のカバーを開け、ネジを左右にまわして行います。

●右にまわすと戸車が出て、網戸が持ち上がります。

●初めに下部の戸車の高低を調整し、平行になるようにした後に上部の戸車を調整し網戸を安定させます。

●取りはずしは、戸車調整用ネジを左にまわし戸車を下げた後、網戸を持ち上げながら行います。